2024年　4月　3日

（臨床研究に関するお知らせ）

社会医療法人愛仁会高槻病院に入院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院総合内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、高槻病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

１．研究課題名

院内救急対応システム(RRS)の有用性に関する後ろ向き観察研究

２．研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院高槻病院　医療情報科　課長　奥田　興司

３．研究の目的

院内救急対応システム(Rapid Response System：RRS) は、入院患者の予期せぬ死亡を防ぐ国際標準的なシステムとなってきており、日本でも導入が進んでいます。高槻病院では2022年10月からRRSを導入しました。高槻病院の成人診療科に入院した16歳以上の患者さんへRRSを導入することで、従来の診療システムと比較して、医療の質および医療安全へどのような影響が及ぼされるかを評価します。

４．研究の概要

（１）対象となる患者さん

高槻病院の成人診療科に、2020年4月1日から2024年4月30日に入院を要した患者入院した16歳以上の方

（２）利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、基礎疾患、入院を要した病名、入院中の経過、入院中のバイタルサインに関する情報です。

（３）方法

RRS導入前後におけるアウトカムを分割時系列解析(ITSA)などの統計手法を用いて検討します。

５．個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

６．ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

７．資金源及び利益相反等について

資金源および開示すべき利益相反はありません。

８．問い合わせ先

〒569－1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13
社会医療法人愛仁会高槻病院医療情報科　担当者　奥田　興司
TEL：072-681-3801　FAX：072-682-3834
E-mail：okuda.kouji@aijinkai-group.com